



# 市外局番の話

現在、電話の市外局番は下関市と菊川町、豊浦町と豊北町、豊田町という三つのエリアに分けられており、同じエリアであれば、市外局番をダイヤルする必要はありません。しかしこのままの状態では、合併して同じ市になったにもかかわらず、市内通話に市外局番をダイヤルし、市外通話料金を支払う場合が生じます。関係する契約者全員の要望であることなどの条件が満たされれば、不一致の解消が可能になるのですが、これには幾つか問題があります。

1市4町のエリアが統一された場合、現在の豊浦町、豊北町、豊田町では、基本料金が下関市・菊川町のものと同じになるため、月額1500円の値上げとなります。また、豊田町は、美祿市・秋芳町と同じエリアに属しているため、豊田町のみが新しいエリアに属することになれば、1市4町だけでなく、美祿市・秋芳町の住民の意向をくむ必要もあるのです。

各エリアの住民の合意が必要ということもあり、調整には時間がかかりそうです。

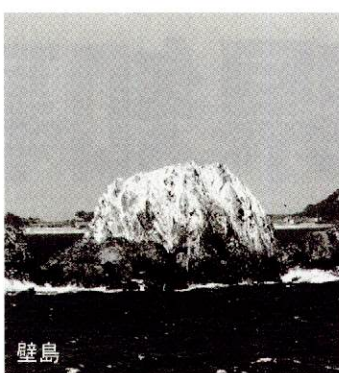
## ●豊関の誇り100選

### ●彦島杉田岩刻画(下関市)

市指定文化財のこの岩は、石英閃緑岩(横140cm、縦100cm、高さ80cm)の表面に刻画された抽象的な人物形と、幾何学文の組み合わせの図形から成っています。この幾何学的文図様のモチーフ



彦島杉田岩刻画



壁島

は、九州の有明海沿岸に数多く残る装飾古墳の中にも見られます。彦島の岩刻画は、装飾古墳文化の系統を理解する手掛かりとなる重要な古墳資料と言えます。

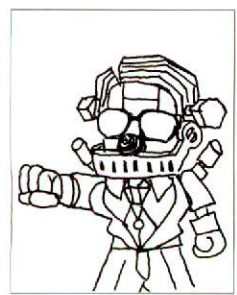
### ●壁島(豊北町)

豊北町には、国指定天然記念物の壁島があります。この辺りはウの渡来地として知られ、冬から春にかけて多くのウミウが見られます。土井ヶ浜遺跡からも女性に抱かれたウの骨が出土しています。

鳥たちは日中、灘から日本海西部、関門海峡付近で過ごし、夕暮れになると壁島に帰って来て夜を過ごします。そのふんで鳥は雪に覆われた白壁のように見え、それで壁島と呼ばれています。

**お元気ですか**  
ejima@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■江島市長から市民の皆さんへ贈る市政コラム



21世紀に入り、下関にも「国際化」「交流人口(観光客)拡大」など新しい可能性が見えてきました。これは同時に、全国各地で散見されるように犯罪発生件数の増加にもつながり、今日の生活の中で最も強く求められる安心・安全な都市づくりが重要な課題となってきます。

## スーパー防犯灯

従来から、日本の治安の良さを維持する大きな要因として、日本警察の高い犯罪検挙率があり、その結果、国民は警察官に大きな信頼感を寄せています。そして、街で見掛ける交番こそが、日本の街中における犯罪発生抑止力、緊急時即応能力などを兼ね備えた、市民の味方ではないでしょうか。この交番システムの優秀さは海外でも高く評価され、東南アジアでは同

様の制度が導入されています。

近年、これらの交番に加えて、急増する路上犯罪に対する新兵器が登場しました。その名はスーパー防犯灯。本来の防犯灯の機能に加え、緊急時に付設の押しボタンを押すと、上部の赤ランプがブザーとともに点灯し、非常事態を周囲に知らせます。同時に最寄りの警察署にテレビカメラと電話がつながり、事態をすぐ警察に通報する仕組みです。



来春から、このスーパー防犯灯がいよいよ市内に登場します。下関駅-豊前田町周辺に合計7カ所設置予定です。痴漢、引ったくり、暴力行為…繁華街で起こり得る事件に対して、十分な抑止力効果を発揮してくれる事を大いに期待しています。

今回の市長の似顔絵は、長府豊浦町にお住まいの木村覚志さんの作品です。「お元気ですか」のコーナーでは、皆さんからの似顔絵を募集しています。広報広聴課(〒750-8521市内南部町1番1号)へお寄せください。